

今回は、熱帯生態学会ニューズレターにご執筆いただきまことにありがとうございます。  
編集作業の軽減のために、原稿作成時に下記の点にご留意いただくと助かります。ご協力お願いいたします。

1. 和文については和文の記号( — や「」など)を、英文については英文記号(-, :, ;, ", 'など)を使用することを基本としてください。ただし、句読点については、カンマ、ピリオド「, 」とします。
2. 副題は、和文の場合は「—」を使用する(両側に半角スペースを入れて長音記号との誤読を防ぐ)。英文の場合は : とする。
3. 和文記事については、タイトル、著者名、所属の英訳をつける。
4. 版下原稿作成時には、下記のサイズとフォントを使用します。参考までに、原稿作成時には、このフォント指定に従う必要はありません。

和文タイトル(18pt), 和文見出し(10pt)にはHGPゴシックE

英文タイトル(18pt), 見出し(10pt)にはArial Unicode MS(ボールド書体)

和文著者名所属にはMS P明朝(12pt)

英文著者名所属にはTimes New Roman(12pt)

和文のタイトル、著者名、所属の英訳を付記する際には、Times New Roman(10.5pt)

文中の数字と英字にはTimes New Roman(10pt)

その他にはMS P明朝(10pt)

図表の和文キャプションにはMS P明朝(9pt)

図表の英文キャプションにはTimes New Roman(9pt)

タイトル、著者名、所属の英訳を付記する際には、Times New Roman(10.5pt)

5. 文献リストを、「引用文献」にするか「参考文献」にするかの選択は著者におまかせします。

6. 文献リストの書式は次のスタイルを標準としています。(暫定版)

雑誌名、機関名は略さないで表記してください。ウェブサイトの引用については、サイトアドレスとともに、サイトの名称も併記していただくようお願いいたします。

## 英文

Rietkerk, M., Boerlijst, M., van Langevelde, F., HilleRisLambers, R., van de Koppel, J., Kumar, L., Prins, H.H.T. and de Roos, A.M. 2002. Notes and Comments: self-organization of vegetation in arid

- ecosystem. *American Naturalist* 160(4): 524-530.
- Bovy, C., ed. 2004. *Voices from the Field: 40 years of Dutch Research in Tropical and Developing Countries*. WOTRO, The Hague.
- Hongo, H. and Meadow R.H. 1998. Pig exploitation at Neolithic Çayönü Tepesi (Southeastern Anatolia) In *Ancestors for the Pigs*, ed. Nelson, S. M. *MASCA Research Papers in Science and Archaeology* 15, 77-98. MASCA, the University of Pennsylvania Museum, Philadelphia.
- Anderson J.A.R. 1975. Illipe nuts (*Shorea* spp.) as potential agricultural crop. In *South East Asian Plant Genetic Resources*, eds. Williams et al., 17-20. Bogor, JaIndonesia.
- Whitmore, T.C. et al. (eds.) 1990. *Tree flora of Indonesia. Check list for Kalimantan. Part.1*. Forest Research and Development Centre, Bogor.
- Wong Soon 1988. *The chocolate fat from Borneo illipe trees*. CT Cahaya Kalbar, Jakarta.
- Wood G.H.S. and Meijer M. 1964. *Dipterocarps of Sabah (North Borneo)*. Sabah Forest Record. No. 5. Forest Department, Sandakan.

## 和文「J」型

- マクドナルド D.W. (編) 1986. 『動物大百科第4巻大型草食獣』 東京:平凡社.
- 大林太良 1999. 「オーストロネシア語族と豚の民族学」『オーストロネシアの民族生物学』:339-357. 東京:平凡社.
- 正田陽一 1987. 「豚」『人間がつくった動物たち』(正田陽一編):101-127. 東京:東京書籍.

## 和文斜字体型

- 堀田 満 1992. テンカワンとは何者なのか. *日本熱帯生態学会ニューズレター* No.6 :7-9.
- 井上民二 1998. *生命の宝庫・熱帯雨林*. 日本放送出版協会.
- 百瀬邦泰 2003. *熱帯雨林を観る*. 講談社.

## ウェブサイト

国立民族学博物館 <http://www.minpaku.ac.jp/> 2006年3月21日アクセス.

7. ニューズレターに掲載された著作物については、下記の熱帯生態学会の著作権についての基準に従って、扱われますので、ご承諾ください。

### 著作権の帰属

本学会発行の出版物に掲載される論文等の著作権(著作権法第 21 条から第 28 条までに規定するすべての権利を含む)は原則として、本学会に帰属する。

### 著作権利用の許諾

本学会に帰属する著作権を利用する場合は本学会の許諾を必要とする。また、本学会は学術目的のために、著作権の一部を第三者に行使させる権利を有する。これら、著作権の利用・行使にともない、本学会に対価の支払があった場合には、本学会会計に繰り入れるものとする。ただし、本学会出版物の著者は、著作者個人あるいは著作者所属組織などのウェブサイトなどにおいて、自らの著作物を本学会刊行物である旨の出典を明記して自由に掲載できるものとする。また、著者は、掲載論文中の図表等を他の出版物に自由に掲載できるが、使用内容を学会事務局に報告するものとする。